

キャッシュ・フロー計算書

第52期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,081,719
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,053,419
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	116,774
IV 現金及び現金同等物の増加額	△ 88,474
V 現金及び現金同等物期首残高	1,468,495
VI 現金及び現金同等物期末残高	1,380,480

利益処分

第52期（平成18年6月27日承認）

（単位：円）

科 目	金 額
I 当 期 未 処 理 損 失	1,369,769,698
II 任 意 積 立 金 取 崩 高	1,446,386,638
1. 固定資産圧縮積立金取崩高	6,386,638
2. 別途積立金取崩額	1,440,000,000
合 計	76,616,940
これを次のとおり処分いたします。	
III 利 益 処 分 額	12,910,500
利 益 配 当 金	12,910,500
(1株につき3円)	
IV 次 期 繰 越 利 益	63,706,440

(注) 固定資産圧縮積立金取崩高は租税特別措置法に基づいたものであります。



株式会社 **スガイ**・エンタテインメント

〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番地
TEL011-241-3951

事業報告書

第52期

（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）

SUGAI ENTERTAINMENT CO., LTD.

営業の概況

アミューズメント施設業界におきましては、三国志大戦、ムシキング等のカードゲームが新規分野で高い伸びを示し、売上では概ね堅調に推移しましたが、原価にかかる機種の人気により利益率の低下傾向がみられました。映画興行界におきましては、東宝配給の作品を中心に邦画のシェアが4割を超え、また韓国映画が比較的好調でしたが、洋画（特にハリウッド映画）のヒット作が乏しく、やや低調に推移しました。

このような中、当社は、ヒットゲーム機の積極的な導入、平成17年4月に超大型複合アミューズメント施設スガイディノス苦小牧（シネマコンプレックス、ボウリング、ゲーム）、9月札幌市北区にゲーム単独小型店のアミューズメントパーク新琴似、平成18年2月にはゲオ函館昭和店内にゲーム単独小型店のアミューズメントパークSHOWAをオープンしました。

なお、当社は、平成17年8月に株式会社ゲオと業務資本提携を発表し、9月に株式会社ゲオの子会社になりました。今回の業務資本提携は、両社が所有するノウハウ、インフラの共有・相互利用をはじめ、共同での出店開発などによる高い相乗効果を生み出していくことをねらいとしたものであります。

当期の売上高につきましては、ゲーム部門の既存店が堅調に推移したこと、スガイディノス苦小牧の売上が寄与したことなどにより、69億34百万円（前年同期比6.4%増）と増収になりました。

利益につきましては、スガイディノス苦小牧の開業負担等がありましたが、営業利益2億85百万円、経常利益1億5百万円（前年同期比129.8%増）と増益になりましたが、減損損失（14億73百万円）の計上に伴い、当期純損失は14億69百万円（前年同期は当期純利益22百万円）になりました。

部門別の概況

（アミューズメント施設部門）

ゲーム部門につきましては、苦小牧スガイ（平成17年4月）、中島スガイ（同年8月）、スガイコンパル（同年9月）及びスガイアポロン（平成18年1月）を閉鎖しましたが、三国志大戦、ムシキング等のカードゲームが好調だったこと、当社オリジナルのファイターズキティの製作ほかプライズゲーム景品の選定・陳列・演出等の

工夫が功を奏したこと、また新しくオープンしたスガイディノス苦小牧（平成17年4月）、アミューズメントパーク新琴似（同年9月）及びアミューズメントパークSHOWA（平成18年2月）の売上が寄与したことなどにより、売上高は前年同期比17.3%増と上回りました。

ボウリング部門につきましては、第4四半期に入り、センター数の減少等により回復傾向がみられるようになりましたが、第1四半期から第3四半期にかけて低調傾向が続いたこと、GO!GO!ファイターズキャンペーン等のテコ入れ策も不発に終わったこと、タイムアミューズメント施設の店舗数が増え一部の客層が移行したこと、並びにスガイディノス苦小牧がオープンしたものの期待を下回ったこと、苦小牧スガイ、スガイコンパル及びスガイアポロンを閉鎖したことなどにより、売上高は前年同期比5.5%減と下回りました。

カラオケ部門につきましては、競合店増加の影響等により低調傾向が続く、前年同期比19.0%減となりました。

その他部門につきましては、ビリヤード部門売上の低迷傾向が続いたこと、マンガ喫茶部門において競合店が増加したこと、中島スガイビリヤード（平成17年8月）、旭川スガイビル4Fの遊VIVA（同年8月）及びスガイビリヤードアポロン（平成18年1月）を閉鎖したことなどにより、前年同期比21.3%減となりました。

以上の結果、アミューズメント施設部門売上高は、59億7百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

（映画興行部門）

映画興行部門につきましては、ハリウッド映画の低調等により期待を下回りましたが、スガイディノス苦小牧の売上が寄与したこと、秋に公開した韓流シネマ、「ハリポッターとアズガパンの囚人」等のヒットがあったことなどにより、映画興行部門売上高は9億16百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

（レンタル・リサイクル事業部門）
レンタル・リサイクル事業部門につきましては、平成17年9月にゲオの子会社になったことに伴い、2店のうち1店は中間期末をもってゲオの直営になり、1店は閉鎖したことにより、1億10百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部			負債及び資本の部		
科目	金額		科目	金額	
	第52期 平成18年3月31日現在	第51期 平成17年3月31日現在		第52期 平成18年3月31日現在	第51期 平成17年3月31日現在
流動資産	1,750,425	1,713,805	流動負債	2,229,253	2,067,732
現金及び預金	1,179,996	1,468,495	買掛金	97,218	78,396
売掛金	109,519	51,910	一年以内償還予定の社債	85,000	85,000
有価証券	200,483	459	一年以内返済予定の長期借入金	1,213,650	1,206,940
商品	21,001	45,695	一年以内返済予定の長期未払金	170,643	192,318
貯蔵品	55,598	44,194	未払金	451,299	343,731
前払費用	55,147	60,492	未払費用	48,845	49,949
繰延税金資産	123,991	35,017	未払法人税等	11,674	18,067
未収入金	2,353	4,380	未払消費税等	22,603	20,991
その他	2,353	3,320	前受金	17,784	22,183
貸倒引当金	△ 20	△ 160	預り金	11,996	12,697
固定資産	11,283,282	12,725,435	賞与引当金	36,593	37,458
有形固定資産	9,452,854	11,226,602	その他	61,944	-
建物	3,803,797	4,606,984	固定負債	5,750,000	5,859,063
構築物	58,190	69,876	社債	307,500	392,500
機械及び装置	40,759	49,744	長期借入金	5,115,435	4,935,225
アミューズメント機器	847,283	1,042,861	長期未払金	73,216	217,839
レンタル用資産	-	21,281	繰延税金負債	-	33,185
車両運搬具	601	1,657	退職給付引当金	145,181	178,315
工具器具備品	163,512	148,489	役員退職慰労引当金	103,282	97,213
土地	4,380,729	5,186,604	預り敷金	5,385	4,785
建設仮勘定	157,980	99,102	負債合計	7,979,253	7,926,796
無形固定資産	10,542	9,375	資本金	948,775	948,775
ソフトウェア	2,414	1,248	資本剰余金	1,128,995	1,128,995
電話加入権	8,127	8,127	資本準備金	1,128,995	1,128,995
投資その他の資産	1,819,884	1,489,457	利益剰余金	2,919,403	4,410,916
投資有価証券	323,101	152,591	利益準備金	61,000	61,000
出資金	576	576	任意積立金	4,228,173	4,234,559
長期貸付金	336,524	358,701	固定資産圧縮積立金	188,173	194,559
長期前払費用	77,356	69,286	別途積立金	4,040,000	4,040,000
差入保証金	1,078,501	908,254	当期末処分利益	△1,369,770	115,356
繰延税金資産	3,648	-	株式等評価差額金	57,280	23,756
その他	176	47	資本合計	5,054,454	6,512,444
資産合計	13,033,707	14,439,240	負債及び資本合計	13,033,707	14,439,240

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科目		金額		
		第52期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	第51期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	6,934,256	6,519,332
		売上高	6,934,256	6,519,332
		営業費用	6,649,051	6,306,412
		売上原価	5,831,941	5,533,641
		販売費及び一般管理費	817,110	772,770
	営業利益	285,205	212,919	
	営業外損益の部	営業外収益	21,826	22,703
		受取利息及び配当金	9,876	8,322
		アミューズメント機器売却益	879	367
		雇用促進奨励金等	3,135	5,358
保険金収入		-	2,821	
協賛金収入	4,000	2,333		
その他の	3,935	3,499		
営業外費用	201,746	189,726		
支払利息	148,993	151,165		
社債費用	7,380	14,155		
アミューズメント機器処分損	41,328	22,924		
その他の	4,044	1,480		
経常利益	105,284	45,896		
特別損失の部	特別利益	92,663	61,950	
	投資有価証券売却益	6,944	44,142	
	固定資産売却益	85,718	-	
	収用補償金	-	17,808	
	特別損	1,804,854	45,703	
	固定資産除却損	304,325	11,131	
	固定資産売却損	1,538	14,999	
	支払補償金	-	6,530	
	差入保証金返還損	23,081	12,043	
	減損損失	1,473,791	-	
その他の	2,118	1,000		
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	△ 1,606,906	62,143		
法人税、住民税及び事業税	11,622	16,950		
法人税等調整額	△ 148,533	22,615		
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 1,469,995	22,578		
前期繰越利益	100,226	92,778		
当期末処分利益又は 当期末処理損失(△)	△ 1,369,769	115,356		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第52期 貸借対照表・損益計算書 の注記	1. 有形固定資産の減価償却累計額	10,379,308千円
	2. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額	57,280千円
	3. 1株当たり当期純利益	△341円58銭